

施 政 方 針 (概 要)

本市は、今後4年間のまちづくりの目標を『あらお新時代！「暮らしたいまち日本一」へ躍進』と定め、荒尾駅周辺と緑ヶ丘地区を中心拠点とした公共交通ネットワーク形成、全世代型デジタル社会とスマートシティの実現、地球環境に優しい「ゼロカーボンシティ」の推進という3つの基本戦略を掲げております。

現在開発を進めているあらお海陽スマートタウンと緑ヶ丘地区は、かつて本市を象徴する荒尾競馬場と三池炭鉱の炭鉱住宅があった場所であり、これらの歴史をしっかりと受け止め、未来につながる地域へと再生させることが荒尾市全体の発展、市民の皆様の幸福度の向上への方策だと確信しております。

令和7年度の主要な施策については、市総合計画に掲げる横断的目標「こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる」と、重点戦略「あらお未来プロジェクト」の5つの柱に沿って進めてまいります。

※詳細は次ページを参照。

令和7年度当初予算では、一般会計が274億7,000万円、特別会計が158億170万円、企業会計が162億6,883万6千円で、全会計の総計は595億4,053万6千円といたしました。これを前年度当初予算と比較しますと、一般会計は4.2%の増、特別会計は6.5%の増、企業会計は4.5%の減、総計で2.2%の増となっております。

いま、荒尾市は急速に進む少子化や超高齢社会への対応、人口減少など、多くの課題を抱えており、その解決に向けた予算としております。一方で、荒尾市は、福岡と熊本両都市圏の中間に位置し、まちがコンパクトで、自然と都市機能のバランスが良く、豊富な観光資源など、優れた特性があります。さらに、行政経営理念として定める、「現場主義の徹底と市役所イノベーション」に基づき、近隣地域や熊本市との連携中枢都市圏などを活用した広域連携、産学官の連携、市民協働などにより、最小の経費で最大の効果を目指す、経営の改革に取り組んでいるところです。

今後も、様々な施策や市政運営を着実に進めることで、誰もが健康で、荒尾に住んで良かったと幸せを実感できる、『暮らしたいまち日本一』へ躍進を図ってまいります。